



学校だより
**桜っ子
通信**

校訓
自ら学び
自ら考え
自ら行う

令和4年6月17日 第47号
長崎市立桜町小学校長 野中正樹

宿泊学習 「自分に、今、何ができる？」

本校の5年生が6月8日（水）から10日（金）までの2泊3日の宿泊学習を行いました。今年から、追加された恐竜博物館の見学をはじめ、茂木地区の皆さんのご指導によるペーロン体験、野外調理活動など、充実した内容でした。これらの活動や共同生活をとおして、子どもたちに身に付けてほしい力を「失敗を恐れず、挑戦し続ける チャレンジ精神」「考えて行動する 判断力と行動力」「一つのゴールに向かって、協働し合う仲間意識」「集団の一員としての在り方（時間・人との関わり・感謝の心）」と定めて、子どもたちに常に「自分に、今、何ができる？」を考えさせ、活動に臨ませました。子どもたちは、今回の宿泊学習を通して、多くのことに気づき、学ぶとともに、仲間とともにかけがえのない思い出を作ることができたようです。

以下は、引率責任者として参加した宇土教頭の所感と、5年生の〇〇〇〇さんと〇〇〇〇さんの振り返りです。
なお、裏面には、写真を載せておりますのであわせてご覧ください。

可愛い子には旅をさせよ 教頭 宇土 衛

今回、宿泊学習に同行させてもらいました。「自分に、今、何ができる？」のテーマのもと、子どもたちは目に見えて大きく成長しました。2泊3日の子どもたちの様子は、学級通信・学年通信等でお知らせがあったとおりです。本当によく頑張りました。また、ここまでの準備を手伝っていただいた保護者の皆さんに、本当に感謝しています。

2泊もお子さんが家にいなことは、そうないのではないのでしょうか。きっと心配で「今、どうしてるかな？」とお子さんのことを何度も考えた方もいらっしゃると思います。昔から「可愛い子には旅をさせよ」と言います。ちょっと短いですが、今回の宿泊学習も子どもたちにしてみれば立派な「旅」だったと思います。

事前説明会で、5年主任の小林が「子どもたち自身に考えさせる宿泊学習にしたい」と強く語っていました。何が起こるか分からないのが「旅」です。子どもたちはまさに、直面した問題に、友達と一緒に、班で、グループで一糸懸命に立ち向かっていました。解散式で、子どもたちに、この頑張りをぜひ続けて欲しいという話をしました。まずは自分で考え取り組んでみる。難しそうだったら周りの人の力を借りる。あきらめない。せっかくその様子が見られたのです。

きっとこれから、より強く、たくましい姿が見られるようになるでしょう。保護者の皆さんには、子どもたちのそんな姿をぜひ見守ってほしいと思います。

私自身もいい宿泊学習を経験させてもらいました。ありがとうございました。

自分だけの経験 〇〇 〇〇

私は、宿泊学習を通して、仲間と協力することを学びました。知識は借りることができるが経験は借りることはできないことに気付いて、私は、経験は大切なことだと実感しました。例えば、ペーロン体験で最初は漕ぐだけだと思っていましたが、やってみるとリズムに合わせて漕ぐことが大切だと体験して分かりました。他にもオリエンテーリング体験では、役割を分担しながら仲間と協力してカードを探すことの大切さを体験して分かりました。

このように、私は、経験しないと分からないことがたくさんありました。そして、私は、経験は借りることができないと改めて思いました。また、行きたいと思いました。

宿泊学習での学びと成長 〇〇 〇〇

ぼくは、宿泊学習で学んだことや成長したことがたくさんあります。例えば、一日目に誕生日で組んだグループでイニシアティブゲームをしたときに、みんなが言いたい放題で、なかなか意見がまとまらなかったけど、最後の日には、提案する人、まとめる人、実行する人に分かれて作戦を話し合うときに、スムーズに話し合えたことです。最初は何気にできたグループだったし、なかなかまとまらなかったけれど、最後は、チームとなって、自分が伝えたいことを自分から伝えることができるようになったことが、成長したなと思いました。

それと「ありがとうございます。」などの感謝の言葉が足りないと注意されました。でも、その後、朝ごはんを食べ終わって、朝食を作ってくれた人に「ありがとうございました。おいしかったです。」と言えたことを、今後、給食を運んでくれる人にも、感謝の言葉が言えるように生かしたいです。

夏季におけるマスクの着用について

本日、標記の件についてのプリントを発出しております。「熱中症が命に関わる重大な問題」とであるという観点から、本校においては、体育の授業や休み時間に運動場や体育館で遊ぶとき、登下校時には、マスクを着用しないこととなります。プリントをご確認いただき、ご対応等よろしく申し上げます。

